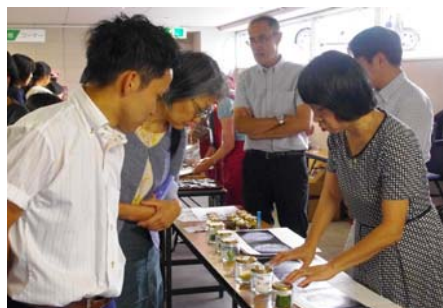


TOREK 自然農法 ホットニュース

第 246 号 2018.10.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。



「無施肥」「有機」「慣行」作物の比較

8月19日の「夏季農産展」の展示会場にて、今年で4回目となる、「無施肥無農薬栽培」「慣行栽培」「有機栽培」の違いを体験していただく試みが行われました。

まず、事前の6月7日にとっておいた、3種類の「小松菜のゆで汁」に、「亜硝酸塩」の試験紙を浸し、ゆで汁に含まれる亜硝酸塩の濃度を比較するという、今までとは違った比較を行いました。この試験紙は、熱帯魚の水槽の水を管理する用途として市販されているものです。



「小松菜ゆで汁」左から「無施肥」「有機」「慣行」

真っ白の試験紙の色が無色なら、亜硝酸塩が含まれていない、赤の色が濃ければ濃いほど亜硝酸塩の含有量が多いこととなります。ゆで汁を採取した当初は、試験紙の反応は出なかったのですが、2週間後テストしたところ、無施肥無農薬のゆで汁には試験紙の色がほぼ無色、慣行栽培は真っ赤に変色し、有機栽培も赤く、ゆでた当初より時間を置くことで、亜硝酸塩が発生するということが分かりました。亜硝酸塩は、体内でタンパク質と結合し、「発がん性物質」に変化するとされています。この結果に、多くの来場者の方が驚いていましたが、ゆで汁の「匂い」も、無施肥無農薬栽培のものは2カ月経過しても、今日ゆでたかのように小松菜の香りがし、慣行栽培のものはツンとくる刺激臭、有機栽培は土臭い匂いと、皆さん「こんなにも違うのね」と驚かされていました。



「ズッキーニ」左から「無施肥」「有機」「慣行」

また、7月16日にビンに入れた3種類の「きゅうり」と、8月9日にビンに入れた「ズッキーニ」の匂いも嗅いでもらいました。約1カ月経過していましたが、無施肥無農薬栽培のきゅうりは、透明な汁は出ていましたが、皆さん「このまま食べられる」「漬物の香りがする」「おいしい匂いがする」と驚かされていました。「いい匂いがする」と言って何回も匂いを嗅いでいた男の子と、大のきゅうり好きらしく、「このきゅうりを食べる」と言っていた幼稚園

くらいのお子さん二人が印象的でした。残りの2つは汁が濁り、時間経過が納得できるものでした。このことから、無施肥無農薬栽培のものは発酵へ、その他の栽培のものは腐敗へ進むということが分かりました。ズッキーニは、有機栽培のものは変色が進み、形も崩れており、慣行栽培のものは干からびているようでした。無施肥無農薬栽培のズッキーニは断面から水分が粒状ににじみ出ている、香りもウリ科のさわやかな香りがし、いまだ細胞が生きているという感じでした。

他に、昨年の農産展の日に比較した「紅茶」の液体をビンに入れたものも見ていただきました。無施肥無農薬栽培の紅茶は澄んだ紅茶のまま、匂いも紅茶の香りが十分残っていて、多くの方が驚いていました。「言われなければ飲んでしまいそうだな」との感想が印象的でした。係としても、1年前の紅茶にそこまで香りが残っていることに、驚きと共に、異物が無いということの素晴らしさを感じました。多くの方が体調の悪いときに無施肥無農薬栽培のものは喉を通る、食べられるというのは、こういう結果からも納得できると思いました。

無施肥無農薬栽培の作物が食べられるのは生産者の方々がいらしてこそです。深く感謝し、スタッフ一同、今後も無施肥無農薬栽培の普及に取り組んでいきたいと思っております。(スタッフ:大山朋子)

自然農法の力のすごさ!

東京都 南部予理子

今年3月に生まれた次男のことですが、生後3、4カ月のころ、思うように体重が増えず、定期健診の際、「このままだと鼻からチューブを入れ、直接胃にミルクを入れざるをえなくなる、母乳だけでなく、ミルクの量も増やして、なんとか体重を増やすように頑張ってください」と言われました。

とは言え、無理にたくさん飲ませようとするれば、そのぶん吐いてしまうことが多かったため、どうしたものかと先輩に相談したところ、自然米の重湯を飲ませてみたらとのこと。離乳食にはまだ早い時期ではありましたが、早速、自然米で重湯を作り、少しずつ飲ませてみました。その後、徐々にミルクの量も増え始め、顔がふっくらしてきました。そして翌月5カ月の健診では、グッと体重が増えたので、「鼻チューブをする心配はなさそうだから、この調子で頑張ってください」とのこと。また、「5ヶ月過ぎたし、ミルクより離乳食のほうが体重も増えやすいから、少しずつ始めてもよいかも」と勧められたので、重湯からお粥の状態にしたもの、自然農法のもので作ったお味噌汁やお野菜、ほうじ茶などをあげるようにしていききました。

体が小さかったころは、「きっと気管支も弱いし、ちょっとした風邪でも重病になりやすいはずだから、予防接種はしたほうがよい」と健診のたびに言われていたのですが、自然農法のものを食べようになってからは、体つきや呼吸等も安定してきたおかげで、予防接種の話題はパッと出なくなり、月齢からいけば、まだまだ小さいけれど、「順調に大きくなってきているから、この子は成長の進みがゆっくりなんだろうから、この子に合わせて焦らず見ていきましょう。離乳食を始めたころから、本当に良い感じできてるから、これまで通り体重を増やしていくことを頑張ってください」と言われるまでになり、「自然農法の作物の力は本当にスゴいなあ」と改めて感じました。



木島平の除草に通う!

埼玉県 北條昭光



堀さんの田んぼへ除草に通い4年が経ちます。今年は昨年と同じ田んぼの除草を担当しました。昨年の成果が出てまして、感覚ですが、雑草は4~5割減ったと思います。ですので、今年は昨年より除草できたと思います。

先日、稲刈りでしたが、昨年より2割増産という結果を頂きました。

埼玉から木島平に毎月通っています。来年は今年以上、完璧に除草できるように、日々の取り組みから作業日を増やし、挑戦しようと思っております。

お知らせ

★ 自然農法農産展 11月3日(祝)展示 / 11月18日(日)販売
食のあふれている今、人を生かす生命力ある食べ物は一体どれほどあるのでしょうか? 「本物を食べる。作る。考える。未来につなげよう! TOREK 自然農法」をスローガンに取り組んでいます。(販売予定はチラシをご覧ください)

★ 自然栽培フェア 10月27日(土)、28日(日) 10:00~16:00
TOREK むせひ屋 出店 (中野セントラルパーク)
★ 自然農法頒布会 10月31日(水) 三咲会場 10:00~14:00
★ 自然農法頒布会 11月27日(火) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00

無施肥無農薬栽培物の販売予定

11月3日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- きじま平自然農産: 甘納豆、里芋、ブルーベリージャム、自然米
- 市川生産グループ: 煎茶、ほうじ茶、ほうじ茶ティーバッグ
- 長柄山自然農園: 卵、ピーマン、ナス、ミニトマト ● 菜園金野: 小松菜、サツマイモ、里芋、長ネギ
- 中島農園: 自然のリンゴ、ホウレン草、春菊、小松菜、チンゲン菜、カブ、長ネギ、下仁田ネギ、梅干
- ジョリフィユ: プリン、みかんジュースゼリー、焼き菓子、シュークリーム 他

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp

